

図1. 2006年から2011年 月別健やか親子21ホームページアクセス数

2. 各コンテンツからみた振り返り

「健やか親子21」公式ホームページ

—母子保健の2014年までの国民運動計画—

■ ■ ■ メインメニュー ■ ■ ■

- 「健やか親子21」について
- イベントと研修会情報
- 取り組みのデータベース
- 母子保健・産後ケアデータベース
- 取り組みの目標値
- 地方自治
- 推進協議会
- Q・Aレポート
- 学校保健
- リンク

■ ■ ■ トピックス ■ ■ ■

- 産後ケアセンターにより児童の安全・自由に大きな影響がある場合の対応について(平成24年9月8日産後ケア推進委員会)
- 「児童福祉法第14条は施設私営」による監視機能と監視員等との関係に関する月行「ライ」について
- 食品中の放射能物質の検査結果について
- 第1回21世紀初頭における母子保健の国民運動計画の概要
- 学校における給食対策マニュアル
- 学校安全委員会(第9回) 配布資料 / (第8回) 配布資料 / (第7回) 配布資料
- 学校安全の推進に関する計画の策定について(第9回) 文部科学省
- 「新しい子育て支援システム」親子で楽しく実践のまなび「有休業のルール」三訂版配布品
- 第1回国民運動推進委員会学際社会的な連携推進委員会設置
- 保健師養成協議会調査

山梨八字のシステム変更に伴い、問合せメールアドレスが変更になりました。
boshu@stax.yamanashi.ac.jp (★を#に変更して送信してください)

このホームページは目標と共に取り組んでいくページです。
ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

厚生労働省母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)事務局
Copyright 2001 by Zentaro Yamagata All rights reserved

1) メインメニュー

(1) 健やか親子21について

「健やか親子21」が目指すもの

母子保健は生活を軸とした健康の出発点であり、次世代を健やかに育てるための基盤となるものです。健やか親子21は21世紀の母子保健の主要な取組を提示し、みんなが推進する国民運動計画です。

◆通知文「健やか親子21の計画期間について」

「健やか親子21」の推進(2006～2014年)について

21世紀初頭における母子保健の国民運動計画(2001～2014年)

重点	① 母子保健の推進体制の強化と推進体制の構築	② 保健・医療・福祉・安全安心な社会環境の整備	③ 育児支援体制の充実と子育て支援サービスの充実	④ 子育て支援サービスの充実と子育て支援サービスの充実
主な目標	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健の推進体制の強化 母子保健の推進体制の強化 母子保健の推進体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉・安全安心な社会環境の整備 保健・医療・福祉・安全安心な社会環境の整備 保健・医療・福祉・安全安心な社会環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 育児支援体制の充実 育児支援体制の充実 育児支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援サービスの充実 子育て支援サービスの充実 子育て支援サービスの充実
親子	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア 産後ケア 産後ケア 	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア 産後ケア 産後ケア 	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア 産後ケア 産後ケア 	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア 産後ケア 産後ケア

「健やか親子21とは」「通知文」「検討会議事録」「中間評価」「全国大会」「マークの使用法」「班の概要」で構成されている。パンフレットやポスターもPDFで見ることができ、一般の方、関係学生等がわかりやすく把握できるように工夫している。アクセス数は、各コンテンツの中で一番高く、目的を把握することと動向をリアルタイムに把握できるため、安定した評価を得ていると考えられる。2014年までの計画のため、今後も正確な情報を伝えていくことが必須である。

(2) イベントと研修会情報

講演会・研修等イベントのご案内

ご紹介している情報は変更になる場合がございますので、必ず実施団体にご確認のうえお問い合わせください。

開催年月	タイトル	日 理	場 所	実施団体/問い合わせ先	備 考
2012年4月	第1回母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)	4月23日	産後ケアセンター(産後ケアセンター)	母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)	
2012年4月	母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)	4月22日	ホテルオークラ(ホテルオークラ)	母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)	
2012年4月	母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)	4月23日(土)・24日(日)	産後ケアセンター(産後ケアセンター)	母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)	
2012年4月	母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)	4月23日(土)・24日(日)	産後ケアセンター(産後ケアセンター)	母子保健推進協議会(母子保健推進協議会)	

「講演会・研修等イベントのご案内」「情報提供」で構成されている。母子保健事業に関連のあるイベント等、週に1回更新しているため、このページからリアルタイムに情報を得ること

数は、300-400件程度であるが、各自治体が作成する際の参考としては、効果的であると思われる。しかし、掲載できている箇所は、全国の半分で程度である。これは、資料を研究班事務局に送ることが必要であるため、周知ができていないことが考えられた。今後の充実を図るための工夫を検討していく必要がある。

(7) 推進協議会

推進協議会資料提供

- 推進協議会規約
- 推進協議会議事録 (平成16年12月2日)
- 推進協議会議事録 (平成15年12月4日)
- 推進協議会議事録 (平成14年12月25日)
- 推進協議会議事録 (平成13年4月20日)

推進協議会行動計画

健やか親子の推進協議会・参加団体の行動計画

男女の生活と意識に関する調査結果の概要と、調査の結果を踏まえた行動計画

息巻春希の保健対策の強化と健康教育の推進(課題1)

平成22-23年度

- 平成19-14年度
- 平成14-18年度
- 平成18-16年度
- 平成16-17年度
- 平成17-18年度
- 平成18-19年度
- 平成19-20年度
- 平成20-21年度

児童生活の発展と生活習慣・健康意識の向上

推進協議会参加団体

各団体からの参考資料

- 事例)子ども虐待防止「食生活」子どもの健康を育む一歩踏み出すための実践的取組
- 【食生活の改善が子どもの健康に与える影響】実践的取組
- 事例)母子保健指導員 児童虐待防止のための「身振り」編
- 事例)日本歯科医師会 平成13年度の取組の振り返り

推進協議会参加団体名簿	
1 徳島県児童虐待防止協議会	51 日本小児科医学会
2 徳島県児童虐待防止協議会	52 日本小児科医学会
3 徳島県児童虐待防止協議会	53 徳島県児童虐待防止協議会
4 徳島県児童虐待防止協議会	54 徳島県児童虐待防止協議会
5 徳島県児童虐待防止協議会	55 徳島県児童虐待防止協議会
6 徳島県児童虐待防止協議会	56 徳島県児童虐待防止協議会
7 徳島県児童虐待防止協議会	57 徳島県児童虐待防止協議会
8 徳島県児童虐待防止協議会	58 徳島県児童虐待防止協議会
9 徳島県児童虐待防止協議会	59 徳島県児童虐待防止協議会
10 徳島県児童虐待防止協議会	60 徳島県児童虐待防止協議会
11 徳島県児童虐待防止協議会	61 徳島県児童虐待防止協議会
12 徳島県児童虐待防止協議会	62 徳島県児童虐待防止協議会
13 徳島県児童虐待防止協議会	63 徳島県児童虐待防止協議会
14 徳島県児童虐待防止協議会	64 徳島県児童虐待防止協議会
15 徳島県児童虐待防止協議会	65 徳島県児童虐待防止協議会
16 徳島県児童虐待防止協議会	66 徳島県児童虐待防止協議会
17 徳島県児童虐待防止協議会	67 徳島県児童虐待防止協議会
18 徳島県児童虐待防止協議会	68 徳島県児童虐待防止協議会
19 徳島県児童虐待防止協議会	69 徳島県児童虐待防止協議会
20 徳島県児童虐待防止協議会	70 徳島県児童虐待防止協議会
21 徳島県児童虐待防止協議会	71 徳島県児童虐待防止協議会
22 徳島県児童虐待防止協議会	72 徳島県児童虐待防止協議会
23 徳島県児童虐待防止協議会	73 徳島県児童虐待防止協議会
24 徳島県児童虐待防止協議会	74 徳島県児童虐待防止協議会
25 徳島県児童虐待防止協議会	75 徳島県児童虐待防止協議会
26 徳島県児童虐待防止協議会	76 徳島県児童虐待防止協議会
27 徳島県児童虐待防止協議会	77 徳島県児童虐待防止協議会
28 徳島県児童虐待防止協議会	78 徳島県児童虐待防止協議会
29 徳島県児童虐待防止協議会	79 徳島県児童虐待防止協議会
30 徳島県児童虐待防止協議会	80 徳島県児童虐待防止協議会
31 徳島県児童虐待防止協議会	81 徳島県児童虐待防止協議会
32 徳島県児童虐待防止協議会	82 徳島県児童虐待防止協議会
33 徳島県児童虐待防止協議会	83 徳島県児童虐待防止協議会
34 徳島県児童虐待防止協議会	84 徳島県児童虐待防止協議会
35 徳島県児童虐待防止協議会	85 徳島県児童虐待防止協議会
36 徳島県児童虐待防止協議会	86 徳島県児童虐待防止協議会
37 徳島県児童虐待防止協議会	87 徳島県児童虐待防止協議会
38 徳島県児童虐待防止協議会	88 徳島県児童虐待防止協議会
39 徳島県児童虐待防止協議会	89 徳島県児童虐待防止協議会
40 徳島県児童虐待防止協議会	90 徳島県児童虐待防止協議会
41 徳島県児童虐待防止協議会	91 徳島県児童虐待防止協議会
42 徳島県児童虐待防止協議会	92 徳島県児童虐待防止協議会
43 徳島県児童虐待防止協議会	93 徳島県児童虐待防止協議会
44 徳島県児童虐待防止協議会	94 徳島県児童虐待防止協議会
45 徳島県児童虐待防止協議会	95 徳島県児童虐待防止協議会
46 徳島県児童虐待防止協議会	96 徳島県児童虐待防止協議会
47 徳島県児童虐待防止協議会	97 徳島県児童虐待防止協議会
48 徳島県児童虐待防止協議会	98 徳島県児童虐待防止協議会
49 徳島県児童虐待防止協議会	99 徳島県児童虐待防止協議会
50 徳島県児童虐待防止協議会	100 徳島県児童虐待防止協議会

本コンテンツは、「提供資料」「行動計画」「参加団体」の三つの柱となっている。情報提供があれば更新をするという流れである。行動

計画においては、PDFで掲載しており、詳細を確認できる。また参加団体は、現在85団体あり、それぞれのホームページURLがリンクされている。アクセス数は、毎月200から300件であるが、必要な時に確実な情報を得られるページとして安定している。また、各団体からの参考資料も確認できるが、連絡があるまで掲載しているため、整理が必要な時期である。

(8) e-サポート

e-ラーニング

放分間で楽しく、効果的に学べる教材を用意。第一弾として「子どもの事故予防」特設ページについて「(監修) 山中龍宏」を掲載しました。オンラインのほか、無料でダウンロードもできます。

ページを見る

e-ラーニング

放分間で楽しく、効果的に学べる教材を用意。第一弾として「子どもの事故予防」特設ページについて「(監修) 山中龍宏」を掲載しました。オンラインのほか、無料でダウンロードもできます。

ページを見る

こそだてリンク

都道府県別と項目別に整理して、子育て支援情報をもとめました。実際に子育てをしている人たちの目線に立ち、いざというときの救急医療情報、子育てサークルのホームページも多数、掲載しています。

ページを見る

こそだてリンク

都道府県別と項目別に整理して、子育て支援情報をもとめました。実際に子育てをしている人たちの目線に立ち、いざというときの救急医療情報、子育てサークルのホームページも多数、掲載しています。

ページを見る

(1) 子どもの事故予防 特に誤飲について- 監修 山中龍宏	学習を始める	オフライン向け <input type="checkbox"/> PowerPoint形式 (375KB)	印刷向け <input type="checkbox"/> PDF形式 (375KB)
--------------------------------------	--------	---	---



1歳後11月30日までのお子さんを対象に、1週間休日など定期的に病院を常駐するかどうかの判断が委員で議論しています。(日本小児科学会)

- 愛育なつと(恩賜財団 母子愛育会)
- 赤ちゃん&子育てインフォ(財 母子衛生研究会)
- イクメンプロジェクト
- 妊娠・出産をサポートする女性にやさしい職場づくりナビ

e-ラーニングでは、子どもの事故予防について、学習できるページである。一般の家庭でも活用ができ、また指導の現場でも活用できる。

こそだてリンクは、子育てに関する有用な情報を提供しているページである。URLをリンクしており、知りたい情報がすぐキャッチできるものとなっている。アクセス数は、毎月50から100件程度と少ない状況であるが、長期に渡り活用できるページであると考えられる。一般の家庭でも学習できるツールとして、周知して行くことが望まれる。今後は、子どもに多い事故についても更新していくことを検討する。

(9) 学校保健

学校保健

新しい学習指導要領

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会では、現在、学習指導要領の改訂に向けて審議を行っています。2007年11月7日には、これまでの審議を「教育課程部会におけるこれまでの審議のまとめ」として決定・公表し、12月7日までの間、広く意見募集を行いました。

HPでは、「審議のまとめ」をわかりやすく示したパンフレットのほか、「参考資料」のページからも、「審議のまとめ」がダウンロードできます。

中央教育審議会

「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために、学校全体としての取組を進めるための方策について」(諮問) (H19.3.29)

子どもが学校はもとより家庭や地域社会において、勉強や運動、遊びなどに意欲を持って取り組み、生き生きとした生活を送るとともに、将来にわたる心身ともに健やかに成長していくためには、学校における安全・安心な環境が確保されるとともに、子どもの心身の健康を守り、育むことのできる適切な指導体制を築いていくことが極めて重要である(つづき)。上記URL参照

厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業

「地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究」から紙芝居とパンフレットができました!



紙芝居「とんでった は」

パンフレット「幼稚園の健康診断のいま」

学校保健

食を巡る子どもの健全育成(いわゆる食育の視点から)のあり方に関する検討会「報告書(平成16年2月 厚生労働省雇用均等・児童家庭局)」

子ども未来財団のHP「i-kosodate.net」にも掲載されています。

http://www.i-kosodate.net/mhbm/i-report/04_tshu/mda.html

報告書全文(楽しく食べる子どもに～食から始まる健やかライフ～)

「楽しく食べる子ども」リーフレット 表紙 中面

「成長曲線を知りてみましょう」リーフレット 表紙 中面

日本小児保健協会 学校保健委員会 <http://www.ischild.or.jp/>

未成年者の喫煙を無くすための学校無煙化推進

子どもの睡眠に関する提言

学校保健関連 リンク集

構造的グループエンカウンター

全国養護教諭連絡協議会

(財)日本学校保健会

エズ教育情報ネットワーク(財団法人日本学校保健会エズ教育情報ネットワーク委員会)

日本学校保健学会

(財)日本性教育協会

「子どもの体力向上」ホームページ(財団法人日本レクリエーション協会)

幼稚園の森園遊園のホームページ

日本養護教諭教育学会ホームページ

保健室のブログ活用

グラフで見る子どもたちの様子

(平成17年度学校保健基本調査より)

平均身長

平均体重

平均座高

裸眼視力

乳し歯(う歯)



学校保健に関する資料を提供している。アクセス数は、毎月300から500件と安定しているが、情報の更新が古くなっているため、見直しが必要なページである。これから、学校保健に

関しては、養護教諭が児童への指導、および資料作成などに役立てることができる重要なページでもあると考える。

(10) リンク

リンク



各種報告様式	公文様式等
http://www.istat.co.jp/21nba.html	http://www.mext.go.jp/
厚生労働省	政府広報オンライン
http://www.mhlw.go.jp/	http://www.gov-online.go.jp/
(財)地域社会振興財団	(財)地域医療振興協会
http://www.ischi.or.jp/	http://www.jidoc.or.jp/
保健統計データポータルサイト～政府統計の総合窓口	
http://www.istat.go.jp/	
国語学大会(学校保健会)研究会(学校保健会)研究会(学校保健会)研究会	
http://www.mext.go.jp/21nba.html	

～健やか親子21推進協議会参加団体のホームページ～

日本小児科医会	01	日本小児科医会	01
日本小児科医会	02	日本小児科医会	02
日本小児科医会	03	日本小児科医会	03
日本小児科医会	04	日本小児科医会	04
日本小児科医会	05	日本小児科医会	05
日本小児科医会	06	日本小児科医会	06
日本小児科医会	07	日本小児科医会	07
日本小児科医会	08	日本小児科医会	08
日本小児科医会	09	日本小児科医会	09
日本小児科医会	10	日本小児科医会	10
日本小児科医会	11	日本小児科医会	11
日本小児科医会	12	日本小児科医会	12
日本小児科医会	13	日本小児科医会	13
日本小児科医会	14	日本小児科医会	14
日本小児科医会	15	日本小児科医会	15
日本小児科医会	16	日本小児科医会	16
日本小児科医会	17	日本小児科医会	17
日本小児科医会	18	日本小児科医会	18
日本小児科医会	19	日本小児科医会	19
日本小児科医会	20	日本小児科医会	20
日本小児科医会	21	日本小児科医会	21
日本小児科医会	22	日本小児科医会	22
日本小児科医会	23	日本小児科医会	23
日本小児科医会	24	日本小児科医会	24
日本小児科医会	25	日本小児科医会	25
日本小児科医会	26	日本小児科医会	26
日本小児科医会	27	日本小児科医会	27
日本小児科医会	28	日本小児科医会	28
日本小児科医会	29	日本小児科医会	29
日本小児科医会	30	日本小児科医会	30
日本小児科医会	31	日本小児科医会	31
日本小児科医会	32	日本小児科医会	32
日本小児科医会	33	日本小児科医会	33
日本小児科医会	34	日本小児科医会	34
日本小児科医会	35	日本小児科医会	35
日本小児科医会	36	日本小児科医会	36
日本小児科医会	37	日本小児科医会	37
日本小児科医会	38	日本小児科医会	38
日本小児科医会	39	日本小児科医会	39
日本小児科医会	40	日本小児科医会	40
日本小児科医会	41	日本小児科医会	41
日本小児科医会	42	日本小児科医会	42
日本小児科医会	43	日本小児科医会	43
日本小児科医会	44	日本小児科医会	44
日本小児科医会	45	日本小児科医会	45
日本小児科医会	46	日本小児科医会	46
日本小児科医会	47	日本小児科医会	47
日本小児科医会	48	日本小児科医会	48
日本小児科医会	49	日本小児科医会	49
日本小児科医会	50	日本小児科医会	50
日本小児科医会	51	日本小児科医会	51
日本小児科医会	52	日本小児科医会	52
日本小児科医会	53	日本小児科医会	53
日本小児科医会	54	日本小児科医会	54
日本小児科医会	55	日本小児科医会	55
日本小児科医会	56	日本小児科医会	56
日本小児科医会	57	日本小児科医会	57
日本小児科医会	58	日本小児科医会	58
日本小児科医会	59	日本小児科医会	59
日本小児科医会	60	日本小児科医会	60
日本小児科医会	61	日本小児科医会	61
日本小児科医会	62	日本小児科医会	62
日本小児科医会	63	日本小児科医会	63
日本小児科医会	64	日本小児科医会	64
日本小児科医会	65	日本小児科医会	65
日本小児科医会	66	日本小児科医会	66
日本小児科医会	67	日本小児科医会	67
日本小児科医会	68	日本小児科医会	68
日本小児科医会	69	日本小児科医会	69
日本小児科医会	70	日本小児科医会	70
日本小児科医会	71	日本小児科医会	71
日本小児科医会	72	日本小児科医会	72
日本小児科医会	73	日本小児科医会	73
日本小児科医会	74	日本小児科医会	74
日本小児科医会	75	日本小児科医会	75
日本小児科医会	76	日本小児科医会	76
日本小児科医会	77	日本小児科医会	77
日本小児科医会	78	日本小児科医会	78
日本小児科医会	79	日本小児科医会	79
日本小児科医会	80	日本小児科医会	80
日本小児科医会	81	日本小児科医会	81
日本小児科医会	82	日本小児科医会	82
日本小児科医会	83	日本小児科医会	83
日本小児科医会	84	日本小児科医会	84
日本小児科医会	85	日本小児科医会	85
日本小児科医会	86	日本小児科医会	86
日本小児科医会	87	日本小児科医会	87
日本小児科医会	88	日本小児科医会	88
日本小児科医会	89	日本小児科医会	89
日本小児科医会	90	日本小児科医会	90
日本小児科医会	91	日本小児科医会	91
日本小児科医会	92	日本小児科医会	92
日本小児科医会	93	日本小児科医会	93
日本小児科医会	94	日本小児科医会	94
日本小児科医会	95	日本小児科医会	95
日本小児科医会	96	日本小児科医会	96
日本小児科医会	97	日本小児科医会	97
日本小児科医会	98	日本小児科医会	98
日本小児科医会	99	日本小児科医会	99
日本小児科医会	100	日本小児科医会	100

総務省統計局、文部科学省、厚生労働省、政府広報オンライン、(財)地域社会振興財団(社)地域医療振興協会、統計データ・ポータルサイト～政府統計の総合窓口など、主要なホームページへのリンクを掲載している。

(11) トップページ常時コンテンツ

各自自治体の優秀取り組み事業3回分、健やか親子21中間評価報告書2回分、関連資料として①「健やか親子21」関連、②思春期の保健対策の強化と健康教育の推進、③妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援、④小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備、⑤子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減、それぞれの関連資料を掲載している。また、各種データ・統計情報についても更新しており、利活用できるものとなっている。

トピックスは、週一回の更新で平均10件の新着情報を掲載している。本ホームページにアクセスする毎、新鮮な情報を得ることを心掛けており、インターネットとしてのリアルタイムな情報媒体になっていると考える。

健やか親子21を考える際、本ホームページのトップページとマークが思い出されるような、印象に残る、また十分活用できるための運営をしていくことが望まれる。

2009～2011年度 健やか親子21メーリングリスト運営状況

研究協力者 永井 亜貴子（社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会／
山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）
研究協力者 鈴木 孝太（山梨大学大学院医学工学総合研究部）

全国の母子保健関係者が、日常業務について相互に情報提供、意見交換を行える場を提供することを目的として、2003年2月より母子保健関係者を対象とした「健やか親子21メーリングリスト」を運営している。2012年3月末現在の累積登録者数は267名で、職種としては保健師が最も多く、ついで、医師である。その他、助産師、養護教諭、理学療法士、学生等も加わっている。投稿数には変動があるが、継続的に活用されている。主に情報や意見の交換に利用されている。

A. 研究目的

全国の母子保健担当者が、いつでも相互にコンサルテーションしあうための場を提供することを目的として、2002年度より、全国の母子保健担当者を対象とした「健やか親子21メーリングリスト（健やかML）」を運営している。このメーリングリストの直接的な目的としては以下の3つがあげられる。

- 1) 全国の母子保健関係者が日常業務について、相互に情報提供、意見交換を行える「場」を提供する。
- 2) 研究班運営担当者からの情報提供をする。
- 3) 参加者から、取り組みのデータベースを含めた、健やか親子21ホームページの運営に関するマーケティングを行なう。

期待される効果としては、以下が期待される。

- 1) 参加者である全国の母子保健関係者の相互コンサルテーションが円滑に行われる。
- 2) 参加者同士の人脈の広がりから、新たな取り組みのアイデアが生まれる。
- 3) 母子保健情報の迅速な相互提供と同時に、関係者同士の議論に発展できる。

- 4) 取り組みのデータベースの使用法などについての技術交換を行い、その活性化が期待できる。

B. 研究方法

1. 経過

2003年2月：山梨大学のメーリングリストサーバを利用し、運営開始。

2004年8月：サーバの公共性、安全性を考慮し、大学病院医療情報ネットワーク：UMINの公開サーバを利用しての運営に切り替えた。

2. 運営方法

①責任者と管理者

運営責任者は、研究代表者である山縣然太朗、管理担当者は、2006年8月まで研究協力者の近藤尚己、2006年9月～2009年4月まで鈴木孝太、2009年5月から永井亜貴子とした。

②参加資格

参加要件を、母子保健関係者とし、かか

わりの不明な希望者や、報道関係者などは登録に際して母子保健へのかかわりについての確認を取っている。

③参加者の募集と参加ルール

健やか親子 21 ホームページ内に、同メーリングリストの案内ページを設け、円滑で、効果的な運営とトラブルの回避をするために、運営に関する「参加ルール」を掲載している。

(http://rhino2.med.yamanashi.ac.jp/torikumi-doc/ml_guidance.html)

C. 研究結果

2003年2月の運営開始から2012年3月現在で、累積登録者数は267名であった。そのうち、アドレス変更などによりメール配信不可能となった者を除いた実質参加者は145名となっている。職業別では保健師が最も多く、ついで医師、研究・教育職と続く(図1)。

加入者数、累積投稿数共に一定した増加が見られる。現在までに、運営上のトラブルは発生していない。

〈2009年度運営状況〉

1. 参加者数と投稿数

新規加入者は8名であった。ほとんどはメールによる申込者であり、メーリングリスト加入者による紹介もあった。投稿数は98通であった。

2. 投稿内容

定期的に行われる健やか親子 21 ホームページの更新情報、児の受動喫煙防止や禁煙に関する催しや、書籍の紹介、その他母子保健に関する研究会などの情報提供などがメーリングリスト上でなされた。

〈2010年度運営状況〉

1. 参加者数と投稿数

新規加入者は2名であった。ほとんどはメールによる申込者であり、メーリングリスト加入者による紹介もあった。投稿数は90通であった。

2. 投稿内容

定期的に行われる健やか親子 21 ホームページの更新情報、東北地方太平洋沖地震と福島原子力に関する災害対策やその健康影響などに関する情報、児の受動喫煙防止や禁煙に関する催しや、書籍の紹介、その他母子保健に関する研究会などの情報提供などがメーリングリスト上でなされた。

〈2011年度運営状況〉

1. 参加者数と投稿数

新規加入者は3名であった。全てメールによる申込者であった。投稿数は54通であった。

2. 投稿内容

定期的に行われる健やか親子 21 ホームページの更新情報、東北地方太平洋沖地震と福島原子力に関する災害対策やその健康影響などに関する情報、子どもの事故予防普及啓発のための教材の紹介、その他母子保健に関する情報提供・情報交換などがメーリングリスト上でなされた。

D. 考察

累積登録者数が260名を超え、参加者同士のコンスタントな情報交換がされている。本メーリングリストは、母子保健関係者が健やか親子 21 を推進していく上での情報交換の場として、現在まで継続的に利用されているようである。

更なる参加者数の増加により、より有益なメ

ーリングリストになる可能性がある。今後は、多くの機会を利用し、幅広い参加を呼びかけたい。

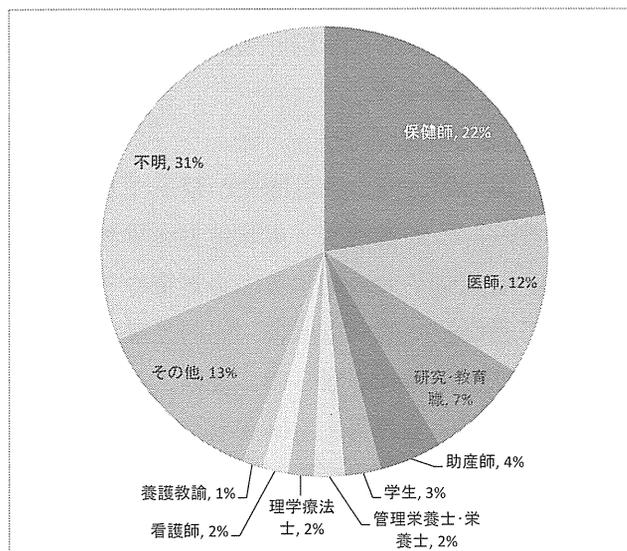


図1 参加者の職業 (2012年3月)

E. 研究発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

「健やか親子 21」ホームページの 「取り組みのデータベース」登録事業の「セレクト 2009」について

研究代表者	山縣 然太朗	(山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座)
研究分担者	荒木田 美香子	(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
研究協力者	市川 香織	(社団法人 日本助産師会)
研究分担者	尾島 俊之	(浜松医科大学健康社会医学)
研究協力者	近藤 尚己	(山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座)
研究協力者	鈴木 孝太	(山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座)
研究協力者	田中 太一郎	(東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野)
研究分担者	玉腰 浩司	(名古屋大学医学部保健学科看護学専攻)
研究協力者	永井 亜貴子	(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会/ ／山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座)
研究分担者	仲宗根 正	(沖縄県中央保健所)
研究分担者	原田 正平	(国立成育医療研究センター研究所成育政策科学研究部)
研究分担者	松浦 賢長	(福岡県立大学看護学部 地域・国際看護学講座)
研究分担者	山崎 嘉久	(あいち小児保健医療総合センター)
研究分担者	山中 龍宏	(緑園こどもクリニック)
研究分担者	吉見 逸郎	(国立保健医療科学院)

21 世紀の母子保健の主要な取り組みのビジョンを示した「健やか親子 21」において、市町村をはじめとする健やか親子 21 に携わる関係機関・団体が、インターネット上で事業の情報を共有できるよう、厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究)の「地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究」(平成 13～15 年)をもとに、既存の事業の再構築・事業評価などに活用可能なデータベースを構築し、運営をおこなってきた。この「取り組みのデータベース」がより一層活用され、他事業との比較を通じた事業計画の立案、および実施・評価が促進されるべく、登録されている事業の中から、母子保健活動に特に参考になる先駆的かつユニークな事業を選抜し、これまでに「セレクト 100」「セレクト 2006」を発行した。

今回は「セレクト 2006」発行以後の 2007 年から 2009 年に登録された全 1,364 件の事業から、乳幼児健診などの通常の事業、「健やか親子 21」の包括的な計画などをのぞき、先駆性、ユニーク性、充実性を考慮して最終的に 64 件の事業を選抜、「セレクト 2009」を発行した。

選抜の課程を通じて、前々回や前回にセレクトされた事業が多くの市町村で行われるようになってきていること、「子育て支援の NPO や高齢者との協働事業、外国人などマイノリティーに対する子育て支援が充実してきていること」が明らかになった。同時に、事業評価をしてエビデンスを創出することが今後さらに必要であると認識された。

はじめに

「健やか親子 21」公式ホームページに掲載しています「取り組みのデータベース」をご活用いただきましてありがとうございます。今後さらに多くの皆様にご活用いただくために、ご登録いただいた母子保健事業の中から、事業計画の立案、及び、実施、評価のお手本になる優れた事業を、本研究班員によって選抜しました「セレクト 2009」を発行いたします。これは 2004 年発行の「セレクト 100 (セレクト 2004)」、2006 年発行の「セレクト 2006」に続く第 3 弾となるものです。

健やか親子 21 と中間評価

「健やか親子 21」は 21 世紀の母子保健の主要な取り組みを提示するビジョンであり、かつ、関係者、関係機関・団体が一体となって推進する国民運動計画です。安心して子どもを産み、ゆとりを持って健やかに育てるための家庭や地域の環境づくりという少子化対策としての意義と、少子・高齢社会における健康な生活の実現を目指す「健康日本 21」の一翼を担うものとして、2001 年から 2014 年 (2005 年、2009 年に評価と見直し) に取り組むこととなりました。

このなかでは、4 つの課題を取り上げ、現状認識、取り組むべき方向性、具体的な取り組み、目標値を提示して、課題の克服に努めることとなりました。市町村ではこれを踏まえた「母子保健計画」を策定し、事業を展開してきたところです。

2005 年度に第 1 回中間評価が、また、2009 年度に第 2 回中間評価を行われました。いずれも、約 7 割の目標値において目標達成に近づいているというよい結果がでました。詳細はホームページ (<http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/>) をご参照下さい。

2009 年の第 2 回中間評価を受けて、2014 年までの 5 年間の重点取り組みは次のようになっています。

- 1 思春期の自殺の防止を含む子どもの心の問題への取組の強化
- 2 産婦人科医師、助産師、新生児科医師等の産科医療・周産期医療を担う人材の確保
- 3 全出生数に占める低出生体重児の割合の低下に向けた取組の強化
- 4 子どもの虐待の防止対策の更なる強化

これらの重点項目を達成するためには「関係者の連携の強化」と「母子保健情報の収集と利活用 (母子保健情報モニタリングシステムなどの構築)」が重要です。

連携にあたっては単なる情報の交換ではなく、協働して事業を行うことが求められます。特に、地域での子育て支援は従来組織である母子保健推進員や母子愛育会などに加えて、子育て支援の NPO との協働が多様化するニーズに応えるためには不可欠でしょう。今回のセレクトにあたってはこの点を配慮した事業が選ばれています。

母子保健活動を効果的なものにするためには、根拠に基づく施策のスクラップ & ビルドが求められます。そのためには、情報を個人レベルで収集し、解析することが必要です。例えば、低出生体重児と妊婦の喫煙の関係性を明らかにするには、妊娠時の喫煙状況とその母親から生まれた子どもの体重を連結したデータベースが必要です。また、母子保健活動に必要な

情報や「健やか親子21」の目標値を日常的に収集して、解析するシステム（モニタリングシステム）を2014年の最終評価に向けて整備したいものです。そこで、現在、私たちの研究班では母子保健情報モニタリングシステムの構築を終え、地域での実践に入っています。このようなシステムが全国で導入されることにより、市町村、都道府県、国それぞれのレベルで必要に応じたモニタリングと分析が可能となり、それは、母子保健活動の効果を高め、親子への大きな支援となると期待しています。

取り組みのデータベース

現在、市町村を中心に、「健やか親子21」の様々な取り組みがなされています。子どもたちの健やかな成長と子育て支援のために、私たちは厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究）の「地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究」（平成13年から平成15年）において、健やか親子21の公式ホームページを構築し運営してきました。構築にあたり、地域での取り組みが活性化されるような情報の提供はできないかと検討した結果、新規事業のアイデアの検索や、既存事業の再構築、事業評価などに活用できる市町村母子保健事業のデータベース構築をおこなうことになりました。ホームページのコンテンツ（項目）について、母子保健関係者を対象に調査した結果、このようなデータベースが必要であると考えている人が多いこともわかりました。そこで構築したものが「取り組みのデータベース」です。現在、当「健やか親子21」を推進するための母子保健情報の利活用に関する研究班で継続して構築運営しています。

取り組みのデータベースは、市町村をはじめとする「健やか親子21」の関連団体が、インターネット上で情報を入力していただき、それをデータベース化したものです。団体ごとのID番号が発行されますので、その後の変更等もインターネット上で可能です。現在、4,301件の事業が登録されています。

データベースの利用は通常データベースのようにキーワード検索に加え、課題別、出生数別、保健師の数別、対象者別など18項目の検索項目を用意して、詳細な検索を可能にしています。これにより、事業の目的や地域の規模、実情にあった取り組みを検索することができます。また、検索した事業を並びかえたり、必要な事業をテキストファイル形式やCSVファイル形式で保存したりできます。

セレクトの目的

「取り組みのデータベース」をより一層ご利用いただくために、研究班として、2つの新しい試みを行っております。一つは、母子保健活動に特に参考になる事業を選抜して提示すること、もう一つは具体的な活用方法を提示することです。このセレクトは、評価まで含めた充実した事業、先駆的な事業、新奇性のあるユニークな事業を選抜しているため、皆様が、現在取り組まれている事業との比較により、評価や見直しの助けになり、更に充実した母子

保健活動に繋がることを目的としております。

セレクト2009選抜の過程

2006年の「セレクト2006」発行以後、2007年1月から2009年12月末までに「取り組みのデータベース」に登録された全1,364件の事業から、乳幼児健診などの通常の事業、「健やか親子21」の包括的な計画などをのぞき、先駆性、ユニーク性、充実性を考慮して、最終的に64件の事業を選抜しました。

各課題別の件数は次のとおりです。

「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」	6件
「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」	9件
「小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備」	15件
「子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減」	27件
「健康日本 21に含まれる母子保健に関するテーマ」	7件

それぞれの事業は課題が重複するものがありますが、課題別に掲載するために、それぞれを特に関連の強い課題の中にまとめました。

総 評

今回で3回目となるセレクトの選抜作業でしたが、全体的に事業内容が洗練されてきたように思います。また、評価についての記載が多くなってきました。特に次の点を今回の総評とします。

①前回セレクトされた事業が多くの市町村で行われている

セレクトの目的は、母子保健活動の参考となる事業を選抜し、具体的な活用方法を提示することです。前回の「セレクト100」、「セレクト2006」選抜時に、先駆的であったり、新奇的でユニークであったりしたために選抜された事業が、今回の選抜時には、複数の市町村で同じように行われていました。今後も、取り組みのデータベースをご活用いただき、互いに、活動や事業のヒントを交換されることを期待します。

②連携事業やマイノリティに対する事業

子育て支援のNPOや高齢者との協働事業が前回よりも多く見られました。健やか親子21の中間評価からも連携の重要性が言われていますが、その方法など様々な工夫がされていました。また、外国人などマイノリティに対する子育て支援も充実してきているようです。

③事業評価をして科学的根拠（エビデンス）をつくりましょう

前回のセレクト時にも述べましたが、母子保健活動の全てにエビデンスがあるわけではありません。特に新しい課題に対する事業にはエビデンスがないものも多くあります。しかし、現場のニーズから何か事業をしなければなりません。そこで、是非、事業評価を十分におこ

なって、エビデンスを創出しましょう。そのためには、企画立案の段階から、評価を十分にできる仕組みを作っておくことです。また、事業効果の検討は対照があることが望ましいのですが、現場では難しいことです。しかし、時間差で事業をおこなったり、近隣自治体との連携で対照を設定したりすることも可能です。専門家の協力を得ながら、地域活動から科学的根拠をつくりましょう。

おわりに

2001年に始まりました「健やか親子21」もすでに2回の間接評価が実施され、残すところ5年弱となりました。多くの項目で目標値に近づいており、麻疹の予防接種率の向上や喫煙対策などは、市町村や関係団体の取り組みが指標の改善につながっていました。一方で、市町村による取組みの格差も、明らかになりました。このような取組みの格差には、さまざまな要因が考えられますが、情報量の格差もその要因の一つでしょう。また、虐待などの困難事例に対する個別の対応に担当者は多くの労力を割いています。困難事例の対応の仕組みや担当者の育成プログラムなども今後、地域の取り組みとして必要になってくるのではないのでしょうか。この「セレクト2009」をはじめ、「健やか親子21」公式ホームページによる母子保健情報の提供が、皆様の母子保健活動の一助となれば幸いです。

2010年9月

健やか親子 21 ホームページ

URL <http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/>

健やか親子 21 取り組みのデータベース

URL <http://rhino2.med.yamanashi.ac.jp/torikumi-doc/>

「セレクト 2009」選定事業一覧

思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

高校生と赤ちゃんのふれあい体験事業（天塩町役場 福祉課）
未成年者飲酒予防教室（湯沢町健康福祉課（保健センター））
ティーンズママの会（豊田市子ども家庭課）
生と性のカリキュラム推進事業（小牧市保健センター）
喫煙防止・禁煙対策（宇部市健康福祉部健康推進課（宇部市保健センター））
思春期保健教室・相談体制の充実（佐賀市健康づくり課）

妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援

妊婦窓口相談（弘前市健康福祉部健康推進課）
妊娠110番（石川県健康福祉部少子化対策監室）
乳児家庭訪問指導事業（千代田区千代田保健所）
マタニティプラネタリウム（佐久市役所 健康づくり推進課）
妊産婦健康診査の助成（大府市健康福祉部健康推進課）
プータン倶楽部1（妊婦サークル）（田尻町総合保健福祉センター）
産婦母乳相談等事業（岡山県浅口市健康推進課）
妊婦訪問（玉名市保健予防課（玉名市保健センター））
地域連絡会（熊本市 子育て支援課）

小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備

乳幼児歯科健診・フッ素塗布・きれいな歯の子の表彰
（厚真町 保健福祉課 健康推進グループ）
先天性股関節脱臼検診（八戸市健康増進課（南郷区健康福祉課含む））
1歳のお誕生日お祝いレター（大館市 市民部 健康推進課）
歯科健診（1歳6か月・2歳6か月・3歳）（大仙市健康福祉部健康増進センター）
未受診者の事後追求に関すること（長岡市子ども家庭課）
親と子の心の健康づくり事業（埼玉県保健医療部健康づくり支援課）
産婦・新生児訪問（市原市保健センター）
4か月児健康診査 ※大森・蒲田地域健康課と共通事業（糺谷・羽田地域健康課）
小児がんの撲滅（がんの子供を守る会）
小児在宅ケア事業 「医療機器装着児と保護者を対象とした小児在宅ケア交流会」
（平塚保健福祉事務所 保健福祉課）
在宅医療児等支援体制整備事業（大阪府健康福祉部保健医療室健康づくり課）
子どもの事故防止（熊取町健康課）
小児の救急 こんなときどうする巡回事業（丹波市健康部健康課）

未熟児訪問指導事業（奈良市保健所）

歯と離乳食の教室（久万高原町保健福祉課）

子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減

乳幼児健診未受診児フォロー（山形市健康課）

子育てアンケートからの親支援事業（福島市保健福祉センター健康推進課）

父と子のメモリアルカード（長岡市子ども家庭課）

じゃれつき遊びで仲よし親子事業（糸魚川市健康増進課）

こんにちは赤ちゃん事業（入善町保健センター）

後期離乳食教室（我孫子市健康づくり支援課（保健センター））

5歳児健康診査（我孫子市健康づくり支援課（保健センター））

こんにちは赤ちゃん事業（山武市役所 保健福祉部）

地域子育て支援ネットワーク事業（八千代市 母子保健課）

インターネット離乳食相談（平塚市健康・こども部健康課）

祖父母のための食育教室～孫育て～（平塚市健康・こども部健康課）

養育支援家庭訪問事業（甲府市健康衛生課）

乳幼児健診来所の母親のストレスチェック（中央市役所 健康推進課）

母子訪問事業（小諸市）

Nobody's Perfect 講座（豊田市子ども家庭課）

発達障害をもつ子どもとその親の支援のあり方部会（小牧市保健センター）

ほめ方教室（与謝野町保健課）

外国人ママの会（高石市立総合保健センター（高石保健福祉部保健医療課））

田辺市養育支援訪問事業（産後ヘルパー事業）（田辺市役所 健康増進課）

5歳児発達相談事業（鳥取市中央保健センター） 0

新生児訪問（生後2ヵ月健診までの全数訪問）（南部町役場 健康福祉課）

5歳児健診・5歳児健診関係機関連絡会（南部町役場 健康福祉課）

乳幼児健診未受診者対策（南部町役場 健康福祉課）

「子どもの発達に関する社会資源ガイドブック（山口地域版）～乳幼児編～」

（山口県山口健康福祉センター）

療育連絡会（久万高原町保健福祉課）

のびのび発達支援センター事業（福津市健康福祉総合センター（ふくとぴあ））

児童虐待防止対策事業（熊本市 子育て支援課）

健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ

むし歯予防教室（南魚沼市保健課）

2歳児歯科電話相談（市原市保健センター）

ポリオ時歯科健康教育（市原市保健センター）

地域の野菜生産者等と共に行う幼児期食育プログラムの開発・普及（東京都多摩小平保健所）
中学食育推進事業（須坂市健康づくり課）
乳幼児健康診査未受診児対策事業（枚方市立保健センター）
こうべ食育フェア（神戸市保健福祉局子育て支援部）

第 68～70 回日本公衆衛生学会学術総会 自由集会
知ろう・語ろう・考えよう！ “一步先行く” 健やか親子 21
第 9～11 回 報告

研究協力者	田中 太一郎	(東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野)
研究協力者	永井 亜貴子	(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 /山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)
研究分担者	山崎 嘉久	(あいち小児保健医療総合センター)
研究分担者	荒木田 美香子	(国際保健医療福祉大学 小田原保健医療学部)
研究分担者	原田 正平	(国立成育医療研究センター研究所成育医療政策科学研究室)
研究分担者	岡本 まさ子	(上野原市立病院)
研究代表者	山縣 然太朗	(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)

毎年秋に開催される日本公衆衛生学会学術総会の際に、本研究班では「知ろう・語ろう・考えよう！ “一步先行く” 健やか親子 21」と題する自由集会を開催している。

平成 21 年 10 月に開催された第 9 回自由集会では、本研究班で構築している母子保健モニタリングシステム(市町村の乳幼児健康診査などで得られた情報を保健所単位や都道府県単位で解析し、市町村や親子、医療機関へ還元するシステム)の紹介と母子保健情報の収集・利活用に関して先駆的あるいは充実した取り組みをされている自治体の担当者に発表ししていただき、それをもとにディスカッションを行った。参加者は約 40 名であり、活発なディスカッションが行われた。

平成 22 年 10 月に開催された第 10 回自由集会では、他機関と連携して母子保健事業に取り組んでいる 2 つの自治体の担当者に発表ししていただき、それをもとにディスカッションを行った。参加者は約 25 名であり、活発なディスカッションが行われた。

平成 23 年 10 月に開催された第 11 回自由集会では、「健やか親子 21」における禁煙対策について 3 つの団体に発表して頂き、それをもとにディスカッションを行った。参加者は約 30 名であり、活発なディスカッションが行われた。

A. 研究目的

本研究班では、毎年秋に開催される日本公衆衛生学会学術総会の際に、「知ろう・語ろう・考えよう！ “一步先行く” 健やか親子 21」と題する自由集会を開催している。ここでは平成 21～23 年度に開催した自由集会の概要について報告する。

B. 研究方法

平成 21 年度、22 年度および 23 年度は以下のような内容で自由集会を開催した。

【第 9 回】(平成 21 年度)

開催日：平成 21 年 10 月 21 日

場所：奈良県奈良市

内容: 研究班で構築している母子保健モニタリングシステム(市町村の乳幼児健康診査などで得られた情報を保健所単位や都道府県単位で解析し、市町村や親子、医療機関へ還元するシステム)の紹介と母子保健情報の収集・利活用に関して先駆的あるいは充実した取り組みをされている自治体の担当者に発表していただき、それをもとにディスカッションを行った。

- <発表自治体>
1. あいち小児保健医療センター
(発表者: あいち小児保健医療センター
保健センター保健室
室長補佐 加藤恵子氏)
 2. 愛知県阿久比町
(発表者: 阿久比町民生部環境衛生課
保健師 松田由佳氏)
 3. 愛知県江南市
(発表者: 江南市健康福祉部健康づくり課
保健師 長谷川真子氏)

【第10回】(平成22年度)

開催日: 平成22年10月28日

場所: 東京都千代田区

内容: 他機関と連携して母子保健事業に取り組んでいる2つの自治体担当者に発表していただき、それをもとにディスカッションを行った。

C. 研究結果

各回の発表内容を以下に示す。

た。

<発表自治体>

1. 静岡県清水町
(発表者: 清水町健康づくり課
藤曲 博子氏)
2. 東京都多摩市
(発表者:
多摩市役所健康福祉部障害福祉課
角谷 美喜子氏)

【第11回】(平成23年度)

開催日: 平成23年10月19日

場所: 秋田県秋田市

内容:

「健やか親子21」における禁煙対策について3つの団体に発表して頂き、それをもとにディスカッションを行った。

<発表者・発表団体>

1. 秋田・たばこ問題を考える会代表、外旭川病院 院長 三浦進一先生
2. 静岡市保健所 所長 加治正行先生
3. 多治見市役所 市民健康部 保健センター 健康づくりグループ 道林千賀子氏

第9回

① あいち小児保健医療センター

日本小児科医学会 自由協会
平成21年10月21日（水）

乳幼児健診に対する新しい評価の視点



Aichi Children's Health and Medical Center
あいち小児保健医療総合センター
保健室 保健師 加藤恵子

愛知県では

- 昭和60年2月に母子健康診査マニュアルを作成
- 平成11年3月に疾病の早期発見、早期重きをおいた健診から心身両面にわたる健やかな育成を目指す母子保健を視野にいれ全面的に改正

母子健康診査マニュアル(愛知県)に基づいた乳幼児健診の評価

30年以上の経験性のある事業
名古屋市(政令市)と豊田市(中核市)以外の県内市町村が参加。

第一次情報: 健診での判定結果
疾病分類(27項目): D:問題なし・C:要指導・B:要観察・A1:要精検・A2:要医療・A3:要継続医療
保育・家庭環境分類(16項目): D:問題なし・C:要指導・B:要観察・A:要措置(要管理)

第二次情報: 医療機関への紹介後等の事後データ
疾病分類(27項目): 異常あり・異常なし・保留・その他
保育・家庭環境分類(16項目): 問題あり・問題なし・保留・その他

マニュアルの報告項目(医科)

疾病分類(27項目)			
1 学童-発熱	2 学童-嘔吐	3 学童-下痢	4 学童-皮膚病
5 学童-呼吸器病	6 学童-消化器病	7 学童-泌尿器病	8 学童-循環器病
9 学童-神経系病	10 学童-内分泌病	11 学童-免疫系病	12 学童-その他
13 乳児-発熱	14 乳児-嘔吐	15 乳児-下痢	16 乳児-皮膚病
17 乳児-呼吸器病	18 乳児-消化器病	19 乳児-泌尿器病	20 乳児-循環器病
21 乳児-神経系病	22 乳児-内分泌病	23 乳児-免疫系病	24 乳児-その他
25 幼児-発熱	26 幼児-嘔吐	27 幼児-下痢	28 幼児-皮膚病
29 幼児-呼吸器病	30 幼児-消化器病	31 幼児-泌尿器病	32 幼児-循環器病
33 幼児-神経系病	34 幼児-内分泌病	35 幼児-免疫系病	36 幼児-その他

保育・家庭環境分類(16項目)			
1 保育環境	2 家庭環境	3 保育環境	4 家庭環境
5 保育環境	6 家庭環境	7 保育環境	8 家庭環境
9 保育環境	10 家庭環境	11 保育環境	12 家庭環境
13 保育環境	14 家庭環境	15 保育環境	16 家庭環境

マニュアルといえは?

とにかく大変
データが合わない
報告が年々増加している

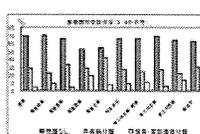
還元情報
グラフの意味がわからない
数値の意味がわからない
項目数が多すぎて
何が問題なのかわからない

地域比較は別の評価
・地域の健康課題
・特定の精度

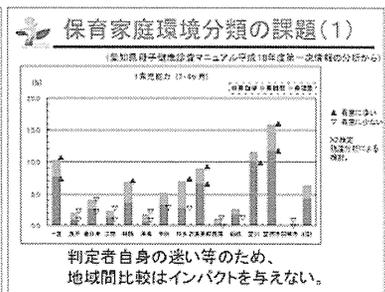
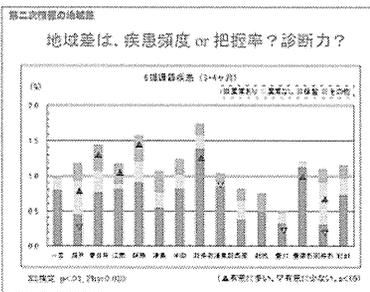
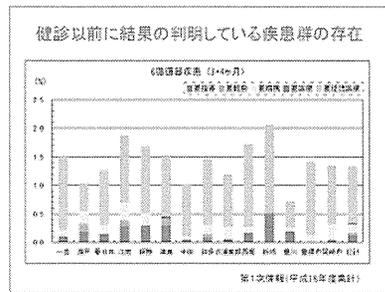
愛知の母子健康ニュース

平成19年9月1日発行 第33号

＜3～4ヶ月健診＞
医療機関で受診率(「問題なし」)の割合が年々増加傾向と報告されています。保健師、医師、衛生師などが高くなっていきます。
疾病分類の「問題あり」の割合は年々増加傾向と報告。家庭環境分類の「問題あり」の割合は年々増加傾向と報告されています。



改正に伴う課題点・要望等
・集計のための集計となっているだけ。
・県も保健所も機械的に集計しているだけ。
母子健康診査マニュアル(愛知県)改訂案(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)



疾病分類に対する管理区分の定義

愛知県 母子健康診査マニュアル

判定結果	D	C	B	A1	A2	A3
問題なし	D	特に問題も認めなかったもの				
要指導	C	問題はあるが健診時の保健指導で、継続観察が可能なもの				
要観察	B	問題はあるが、健診時の生活指導で継続観察が可能なもの				
要精検	A1	問題と特定するために、また、問題の解消のために、一定期間の経過観察を要するもの				
要医療	A2	問題と特定するために、また、問題の解消のために、一定期間の経過観察を要するもの				
要継続医療	A3	すでに医療の管理下にあるもの				

＝ 問題解決とは病気が治ること?
＝ 疾患を持つ家族の子育て等への保健指導?

管理区分の定義

【母子健康診査マニュアル(愛知県)】

判定結果	D	C	B	A
問題なし	D	特に問題も認めなかったもの		
要指導	C	問題はあるが、健診時の生活指導で継続観察が可能なもの		
要観察	B	問題と特定するために、また、問題の解消のために、一定期間の経過観察を要するもの		
要措置(要管理)等	A	問題と特定するために一定期間の経過観察を要するものとして、継続観察が必要なもの		

マニュアル改訂案(1) 報告項目の抜本的見直し

健診情報(報告項目)見直しの考え方

基本的な考え方	報告項目等の該当部分
●健診の精度管理に活用できるよう、情報を整理し、判定区分を明確にする。	⇒「疾病の発見」の各項目(データ以外のものは、健診時の担当の所見で振り分ける)
●客観的なデータで表すことができるものは、数値化、あるいは明確な基準で表す。	⇒「疾病の発見」の発育(パーセントイル値、肥満度)、皮膚・視覚検査・聴覚検査
●各健診一律ではなく、健診時期に応じて必要な項目を報告項目とする。	⇒「疾病の発見」の各項目例)「頭蓋」は3～4ヶ月児健診のみなど

健診時期別の「疾病の発見」項目(案)

項目	項目	報告項目		
		3～4ヶ月健診	1歳0ヶ月健診	2歳健診
疾病の発見	発熱	発熱	発熱	
		発熱	発熱	
		発熱	発熱	
		発熱	発熱	
皮膚の発見	発熱	発熱	発熱	
		発熱	発熱	
神経系	発熱	発熱	発熱	
		発熱	発熱	
聴覚	発熱	発熱	発熱	
		発熱	発熱	

健診時期別の「疾病の発見」項目(案)

項目	項目	報告項目		
		3～4ヶ月健診	1歳0ヶ月健診	2歳健診
疾病の発見	発熱	発熱	発熱	
		発熱	発熱	
		発熱	発熱	
		発熱	発熱	
皮膚の発見	発熱	発熱	発熱	
		発熱	発熱	
神経系	発熱	発熱	発熱	
		発熱	発熱	
聴覚	発熱	発熱	発熱	
		発熱	発熱	

マニュアル改訂案(2) 報告項目の抜本的見直し

健診情報(報告項目)見直しの考え方

基本的な考え方	報告項目等の該当部分
●児の発達や疾病の程度ではなく、保健指導・支援の必要性の度合いがわかるものとする。	⇒「保健指導・支援」の各項目は、健診時の担当とは別に、保健指導の必要度を合意して振り分ける。
●保健指導や支援が必要な児(家族)の必要性について、報告・評価できるようにする。	⇒「保健指導・支援」の項目として、児の必要(発達・その他)、親や家族の必要(親子関係の分類)に取次ぐ。
●前回の常態も含め、一人の児をトータルでみることで、多職種によるカンファレンスの結果を反映する。	⇒「保健指導・支援」の判定は、多職種によるカンファレンスの結果を反映する。